

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計					事務事業分類	D 建設・整備事業
事務事業名	大浜体育館建替整備運営事業				シート番号	008-018
担当部署名	文化観光	局	スポーツ	部	スポーツ施設	課 評価責任者(課長名) 清水

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け	
			施策	4	スポーツと健康づくりの推進	有	
	2	事業開始年度	平成 24 年度		終了(予定)年度	令和 17 年度	
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	スポーツ基本法				
	4	関連計画	第2次堺市スポーツ推進計画				
5	事業実施の経緯	大浜体育館は、昭和46年に本市が初めて建設した体育館であるが、施設の老朽化などにより、利用ニーズに応えることが次第に困難になりつつある。					

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )					
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	施設利用者					
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	老朽化した体育館の建替え(機能の継承と充実)により、市民ニーズに応じたスポーツ環境を提供する。					
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	○事業内容 大浜体育館を建替えし、市民が安全で快適にスポーツに親しめる体育館と、本市の武道振興の拠点となる武道館を整備する。建替えに当たっては、PFI手法を導入し、民間活力を活用して効率的かつ効果的に整備する。 ○基本方針 基本コンセプト「現体育館機能の継承・充実」 整備コンセプト「する」スポーツの推進、「みる」スポーツの推進、武道振興の拠点整備、大浜公園の魅力向上 ○事業スケジュール(予定) 平成30～32年度 設計・建設、竣工 令和3年度 供用開始、管理運営(～令和17年度)					
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 委託業者(モニタリング支援業務)						

Ⅲ. 投入量

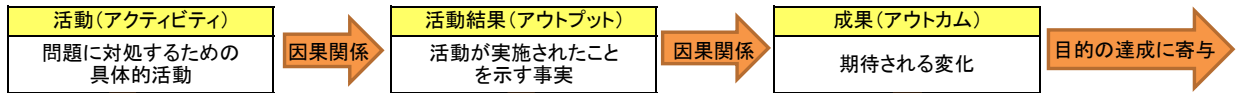
項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11 事業費(a)	千円	24,433	24,457	16,066	14,729	1,918,297	1,756,720	5,083,232	
主な事業費内訳	PFI手法の導入検討、募集・選定	千円	24,433	24,457					
	新体育館の設計建設、管理運営	千円				1,900,887	1,738,887	5,069,002	
	PFI事業者へのモニタリング等	千円			14,266	14,228	14,260	14,170	14,230
	現体育館の解体	千円			1,800	501	3,150	3,663	
	国・府支出金	千円							238,800
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
財源内訳	市債	千円				1,428,400	1,307,200	3,608,300	
	その他(スポーツ振興基金繰入)	千円						1,162,300	
一般財源	千円	24,433	24,457	16,066	14,729	489,897	449,520	73,832	
12 人件費(b)	千円	19,024	19,024	18,860	18,860	19,035	19,035	12,300	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	43,457	43,481	34,926	33,589	1,937,332	1,775,755	5,095,532	

## 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	大浜体育館建替整備運営事業	シート番号	008-018
-------	---------------	-------	---------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)

#### ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

#### 事業の活動実績や成果

		令和元年度実績				
活動実績と成果	14	新体育館の実施設計が完成、建設工事に着手済み。				
	15	定性的な目標				
		新体育館の供用開始(令和3年4月)				
		目標に対する実績	平成29年度 PFI事業者と契約締結	平成30年度 設計	令和元年度 着工	
	16	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		目標値				
		実績値				
		達成率				
		評価				

#### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

#### 業績の分析

		目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19		市とPFI事業者で締結した事業契約書に基づき、予定どおり事業を遂行できている。

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	大浜体育館建替整備運営事業	シート番号	008-018
-------	---------------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	<b>事業廃止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	<b>廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 新体育館はトップレベルチームの試合も観戦できるアリーナや本市の武道振興の拠点となる武道館を併設するものであり、令和元年7月に着工し、建設工事を進めている。令和3年2月末に完成し、4月から開館する予定であり、廃止できない。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	<b>事業休止の可能性</b> <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	<b>休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響</b> 新体育館はトップレベルチームの試合も観戦できるアリーナや本市の武道振興の拠点となる武道館を併設するものであり、令和元年7月に着工し、建設工事を進めている。令和3年2月末に完成し、4月から開館する予定であり、休止(延期)できない。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	<b>コストの縮減</b> <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	<b>縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由</b> コスト縮減を図るため、新体育館の設計・建設から管理運営までを一体的に行う民間活力(PFI手法)を活用している。PFI事業者の選定に当たっては、金額と提案内容を総合的に評価する入札制度を導入し、外部委員からなる検討委員会の審査を経て、4事業者の中から選定した。今後、運営収入が増加した場合は、PFI事業者と締結している事業契約書の規定に従い、同事業者と契約金額について協議していく。なお、新たな財源確保策として、ネーミングライツ・パートナーを公募し、体育館と武道館の命名権料を徴収することで、市の費用負担の縮減を図っていく。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	<b>事業手法の適切性</b> <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	<b>改善する場合は改善策、その他は理由</b> 体育館のアリーナには約3,000席の観覧席がある。PFI事業者による感染防止ガイドラインを策定し、感染防止対策を徹底して管理運営を行う必要がある。また、大会等のリモート配信など、ICT活用による感染防止対策についてもPFI事業者や大会主催者等との協議を通じて検討していく。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input checked="" type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 ( 公園緑地部 ) 関連事業名 ( ) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ( )	<b>理由・説明</b> (公民連携の推進) 民間活力を活用するためPFI手法を導入しており、市内業者の活用等による地域経済への波及効果や大浜公園の魅力向上などの効果が見込まれる。 (ICT活用による効率化) 大会等のリモート配信など、ICT活用による感染防止対策についてPFI事業者や大会主催者等との協議を通じて検討していく。 (他部局との適切な連携・役割分担) 大浜公園に立地することから、大浜公園の魅力向上に向けて公園緑地部と連携している。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	<b>事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 <b>公金投入の方向性</b> <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	<b>実施年度</b> <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見	設計・建設から管理運営までを一体的に行うPFI手法の導入により、今後も効果的、効率的な事業運営の実施を見込んでいる。 令和17(2035)年度まで大浜体育館を管理運営するPFI事業者との協議等を通じて、PFI事業者が有するノウハウをさらに引き出すことで、魅力ある施設とする。	